

「魚の観察」の紹介

◎「魚の採集」と「魚の観察及び解説」の約60分の学習

- * 準備物：タオル，ぬれてもよい靴，替えの靴，場合によって着替え，夏期は水筒，帽子。
- * これまでの実施場所：土浦市田村地区（自然再生事業B地区），かすみがうら市戸崎（ウェットランド）稲敷市和田公園，行方市ふれあいランド付近，堤脚水路等
- * 交通手段：センター所有の40人乗りバス（無料）が利用できます。
- * 定員6人乗りと4人乗りのボートによるボート乗船体験を行うこともできます。（救命胴衣あり）
- ▲採集した魚等は，原則として持ち帰ることはできません。

1 簡単な「魚の解説」と「魚の採集方法」の説明（魚の観察資料）参照）

「魚の観察をとおして，霞ヶ浦の環境を考えよう」

魚観察資料

一生霞ヶ浦にいる魚

コイ 【コイ科】 全長40cmほど。フナに似ているが、鱗や目が細かく、口が小さく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

キンブナ 【コイ科】 全長10cmほど。稚魚は、鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

ギンブナ 【コイ科】 全長20cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

シラウオ 【シラウオ科】 全長10cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

アサヒレタビラ 【コイ科】 全長10cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

ヤリタナゴ 【コイ科】 全長10cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

ワカサギ 【ワカサギ科】 全長4cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

ガンゴウブナ 【コイ科】 全長40cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

マナマズ 【マナマズ科】 全長10cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

メダカ 【メダカ科】 全長4cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

ドジョウ 【ドジョウ科】 全長10cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

モツゴ 【モツゴ科】 全長8cmほど。鱗や目が細かく、尾は1本細い。一冬を終ると2割程度の成長がある。

コイを例に魚の体を観察しましょう。



たも網による魚の採集

・参加者の皆さんには、1人1本のたも網で魚を採集して頂きます。場所や時期にもよりますが、例えばスジエビやテナガエビ、そしてヌマチチブ、タイリクバラタナゴ、フナなどが捕れます。

投網による魚の採集

・7月21日から1月20日のワカサギが漁獲解禁時期には、投網で魚を採集することもできます。

2 魚の採集

たも網・投網による魚の採集



3 魚の解説・学習のまとめ

採集した魚をもとに解説

・採集した魚をもとに解説を行います。

・ヌマチチブのおなかには吸盤があることやタナゴは2枚貝の中に卵を産むことなどの興味・関心を高める内容です。

魚と水質や生きものつながり

・水質の変化によって減った魚や増えた魚、湖での生きものつながりを考え、環境保全の態度を養います。

水産資源としても重要な魚たち

・ヌマチチブなどのハゼの仲間、テナガエビなどの川エビは、佃煮として私たちの食料となっています。

魚の観察でよく採集されるもの



スジエビ



ヌマチチブ



モツゴ

全長8cmほどである。水質汚濁への適応力が高い。雑食性である。



タイリクバラタナゴ

全長6-8cm。アジア大陸東部と台湾原産。オスは鮮紅色の婚姻色を呈す。



ゲンゴウブナ

全長40cmほど。本来は琵琶湖の固有種。植物プランクトンを食べる。